

## 歩掛等参考見積募集要領

次のとおり歩掛等参考見積を募集します。

令和8年1月29日

独立行政法人水資源機構

筑後川下流総合管理所長 北村 達也

(公印省略)

### 1. 目 的

この歩掛等参考見積の募集は、筑後川下流総合管理所筑後川下流用水管理所が予定している工事の積算の参考とするための作業歩掛等を募集するものです。

### 2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、筑後川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、機器単価及び工種毎に必要な職種の数を記載して提出して下さい。  
なお、参考見積書の様式は問いませんが、「別紙－2 参考見積記入様式」を参考にしてください。
- (2) 提出期間  
令和8年2月13日(金) まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先  
独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所長 宛  
【担当】筑後川下流総合管理所 工務課 山崎  
〒830-0071 福岡県久留米市安武町武島1063-2  
TEL 0942-26-4551 FAX 0942-26-1525  
E-mail : yugo\_yamazaki@water.go.jp
- (4) 提出方法  
書面は持参、郵送又はFAX（いずれも社印があること）により提出するものとします。  
なお、参考見積書の件名は「総合対策筑後取水口ブロワ設備更新対策工事(仮称)」としてください。

#### 4. 参考見積内容

##### (1) 工事内容

本参考見積りは、「別紙－1 参考見積仕様書」に示す作業を実施する歩掛等とします。ただし、別紙－1に記載のない労務工数については、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（機械編又は電気通信編）」（以下「基準書」という。）によるため、見積募集の対象から除外します。

##### (2) 工事費の構成と歩掛等見積徴取範囲

- ① 本歩掛等参考見積を適用する工事費の構成は、基準書によるものとします。
- ② 歩掛等参考見積徴取範囲は基準書で定義されている機器単体費及び労務費のうち、上記（１）の「工事内容」を実施する為に必要な機器単価及び労務工数（人数）について募集します。

（参考）積算体系



##### 1 製作原価



##### 2 掘付工事原価



##### (3) 職種の定義・作業内容

国土交通省が公表している「令和7年3月から適用する公共工事設計労務単価」における職種によるものとします。

##### (4) 見積有効期限

令和8年（2026年）3月末日とします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

（1）提出期間：令和8年2月6日（金）まで

持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

（2）提出場所：3. （3）に同じ。

（3）提出方法：3. （4）に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

（1）閲覧期間：質問書提出期限の翌々日から見積書提出期限終了まで

（2）閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れながら、参考見積提出者のご負担にてお願い致します。

8. 問い合わせ

提出して頂いた参考見積書の内容について、こちらからお問い合わせする場合があります。

9. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、工事の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、工事積算の目的以外には使用いたしません。

総合対策筑後取水口ブロワ設備更新対策工事（仮称）

参 考 見 積 仕 様 書

令 和 8 年 1 月

独立行政法人水資源機構  
筑後川下流総合管理所

## 第 1 章 総則

### 第 1 節 工事の内容

#### 1-1 工事場所

福岡県久留米市安武町武島地内

#### 1-2 工事概要

筑後取水口ブロワ設備は、平成 8 年 9 月に完成し、約 30 年以上経過している設備で、筑後川左岸取水口からの魚類迷入を防止する重要な設備である。

本工事は、当該設備の機能を正常に維持し、円滑な運用を図るため、設備更新を行うものである。

#### 1-3 施工範囲

本工事の施工範囲は、次表に示す設備の設計、製作、輸送、撤去・据付、調整及び試運転までの一切とする。

施設名	設備名	施工内容	数量	備考
筑後導水路 取水施設	筑後取水口 ブロワ設備	ブロワ装置更新	1 門	
		機側操作盤更新	1 面	
		換気扇取替	1 個	
		電源分岐盤新設	1 面	
		一次側電気配線撤去・敷設	1 式	

## 第 2 章 設計・製作

### 第 1 節 設計緒元

#### 1-1 構造

##### 1. ブロワ装置

(1) ブロワ装置の仕様は、次表のとおりとする。

形 式	ロータリーブロワ
数 量	2 台
取 扱 気 体	空気
空 気 量	10m <sup>3</sup> /min 以上
吐 出 圧 力	約 5000 mm Aq
冷 却 方 式	空冷
塗 装	塗装仕様はメーカー標準とするが、上塗塗色については機構と協議のうえ決定するものとする。

付 属 品	吸込サイレンサ、圧力計、安全弁、防振架台、基礎ボルトナット
-------	-------------------------------

- (2) ブロワ装置は、連続運転が可能なものとする。
- (3) 施工者は、敷地境界において騒音規制を満足する機種を選定するものとする。
- なお、ブロワ装置設置場所における騒音規制指定地域の区域区分は次のとおりである。
- ・筑後取水口ブロワ：第2種区域（久留米市）

## 2. 機側操作盤（ブロワ制御盤）

- (1) 機側操作盤の仕様は、次表のとおりとする。
- また、施工者は、当該区域の騒音規制を満足する機種を選定するものとする。

形 式	鋼板製屋内自立閉鎖形
数 量	1 面
電 源	3φ3W AC200V 60Hz
概 略 寸 法	幅 600×高 2350×奥 500 mm程度
盤面取付器具	電圧計、電流計、集合表示灯、運転時間計、運転回数計、運転（黒・△）・停止（赤・□）・警報停止（黄・□）・故障復帰（黄）・ランプテスト（黄）・非常停止釦、機側一遠方切替スイッチ
盤内収納器具	配線用遮断器、電磁接触器、進相コンデンサ、保護継電器、変圧器、計器用変流器、スペースヒータ、盤内照明灯、ドアスイッチ、端子台及び内部配線、その他必要なもの
塗 装	メラミン樹脂塗装、上塗塗色マンセル 5Y7/1
予 備 品	機械設備工事共通仕様書（令和5年4月 独立行政法人水資源機構）第6章第9節 6-9-5 に準じる
付 属 品	操作要領説明板（アクリル製、A3 版）

- (2) 制御電源は、盤内において動力電源を降圧して供給するものとする。
- (3) 施工者は、盤内制御器具の役割が分かるよう制御器具周辺に器具番号及び日本語名称を付すものとする。
- (4) 機側操作盤内には、ブロワ装置の状態信号、故障信号及び制御信号等の遠方入出力端子を設けるものとする。
- (5) 機側操作盤は 新規にベース架台及びアンカーを設けるものとし、地震等において転倒しないよう耐震基準による強度検討を行い、適切な耐震施工を行うものとする。
- (6) 施工者は、機側操作盤更新に伴い運転操作要領書（操作説明書、故障対処等）を作成し、完成図書に綴じ込むものとする。また、操作手順を記した操作要領説明板（アクリル製、A3 版）を作成するものとする。

## 3. 電源分岐盤

- (1) 施工者は、既設のブロワ制御盤から、上記 2. 機側操作盤の機能を除いたものを分岐盤として新たに製作するものとする。仕様は次表のとおりとする。

形 式	鋼板製屋内壁掛形
数 量	1 面
電 源	3 φ 3W AC200V 60Hz 1 φ 3W AC100V 60Hz
概 略 寸 法	幅 900 mm×高 1200×奥 250 mm程度
盤内収納器具	配線用遮断器、漏電遮断器、端子台、アース端子、内部配線、スペーサー、その他必要なもの
塗 装	製造者標準塗装
予 備 品	なし
付 属 品	図面入れ

- (2) 負荷名称を明示するものとする。  
(3) 外線との接続は、端子台による接続とする。  
(4) 地震等において外れないよう耐震基準による強度検討を行い、適切な耐震施工を行うものとする。

#### 4. 換気扇（ブロワ室）

形 式	有圧換気扇（低騒音型）
数 量	1 個
羽 根 径	40 cm
風 量	4440m3/h
電 源	単相・100V 60Hz
付 属 品	取付ボル・ナット

#### 5. 銘板

施工者は、ブロワ設備の仕様等を記した銘板を製作するものとする。表示内容・設置位置については製作前に機構の確認を受けるものとする。

種類	エッチング式
数量	1 枚
寸法	A4 サイズ、t3
材質	ステンレス製

## 第 3 章 取外し・据付

### 第 1 節 取外し・据付

#### 1-1 既設設備の主要仕様

本工事対象設備の既設仕様は、別表－1 のとおりとする。

#### 1-2 撤去機器

本工事において、撤去する主要機器の重量等は、次表のとおりである。

装 置 区 分	ブロワ装置	ブロワ制御盤	換気扇
---------	-------	--------	-----

数	量	2 台	1 面	1 台
型	式	100ERBR-Y5	屋内自立閉鎖型	FY-40GSV2
概	算	重	量	
		約 500 kg / 台	約 300 kg / 面	約 17 kg / 個

### 1-3 取外し・据付

#### 1. 取外し・据付

- (1) 施工者は、取外し・据付作業前に現設備の状態を確認するものとする。
- (2) 施工者は、取外し・据付に際し、搬出入ルート、組立手順等の事前調査を行い、調査結果に基づいた施工計画を立案し、施工を実施するものとする。
- (3) 施工者は、現地条件を十分に配慮したクレーン機種を選定し、旋回等により既設構造物に損傷を与えないよう施工するものとする。
- (4) ブロワ設備の施工にあたっては、室内の手動トロリ式チェーンブロック（定格荷重 1t、揚程 3m）を機構の了解を得て使用して良いものとする。
- (4) 施工者は、あと施工アンカーボルトに対して設計強度が確保されているかを確認するために設計用引張荷重に等しい荷重であと施工アンカーボルト全数に対して引張試験を実施するものとする。
- (5) 施工者は、据付後に固定用ボルトナットの弛み防止確認用に I マークを入れるものとする。
- (6) 本工事において塗膜に損傷を与えた部分は、補修塗装を行うものとする。  
なお、補修塗装にあたっては現塗装仕様と同一とする。
- (7) 施工者は、電気配線接続にあたり、誤配線がないように施工するものとする。
- (8) 試運転及び調整に先立ち、試験項目等を記載した現地試験方案書を機構に提出し、確認を受けるものとする。
- (9) 施工者は、施工管理基準に基づき調整を行い、測定値を記録するものとする。
- (10) 調整・試運転の際に用いる測定機器類は、施工者が準備するものとする。
- (11) 調整完了後、試運転により性能・機能の確認を行うものとし、機側及び遠方で動作、状態表示の確認、保護機器の作動確認を行うものとする。

### 1-4 電源分岐盤新設、一次側電気配線撤去・敷設

#### 1. 電源分岐盤新設、一次側電気配線撤去・敷設

- (1) 施工者は、電源分岐盤新設にあたり、筑後揚水機場からブロワ室までの一次側配線の撤去・敷設を行うものとする。

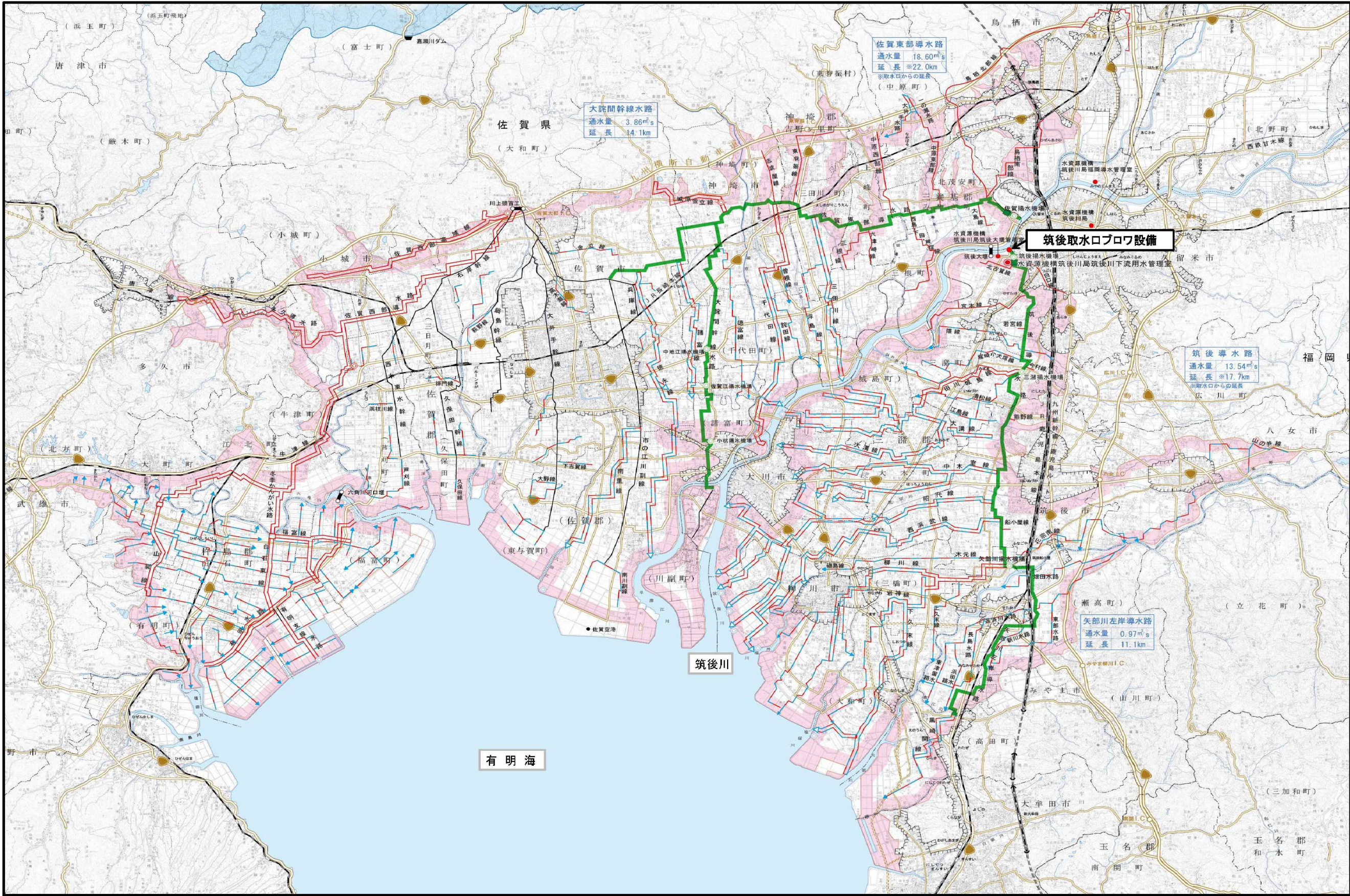
－以 上－



別紙－1（既設仕様）

	筑後取水口ブロワ設備
散気管	S-250（プラストロン）
送気管	100A（SUS304TP）
ブロワ装置	
数量	2 台
形式	ロータリーブロワ
取扱気体	空気
接続口径	100 mm（吐出側）
空気量	10m <sup>3</sup> /min
吐出圧力	5000 mm Aq
回転数	1700min <sup>-1</sup>
冷却方式	空冷
型式	100ERBR-Y5
納入業者	(株)荏原製作所
電動機	
型式	横軸三相誘導電動機全閉外扇形
起動方式	コンドルファ
出力	15kW
電源	AC220V 60Hz
極数	4P
ブロワ制御盤	動力及び電灯回路の分電機能を兼ねる
数量	1 面
形式	屋内自立閉鎖型
操作方式	機側／遠方
電源	3 φ 3W AC220V 60Hz 1 φ 3W AC100V 60Hz
完成年月	平成 8 年 9 月
納入業者	(株)荏原製作所

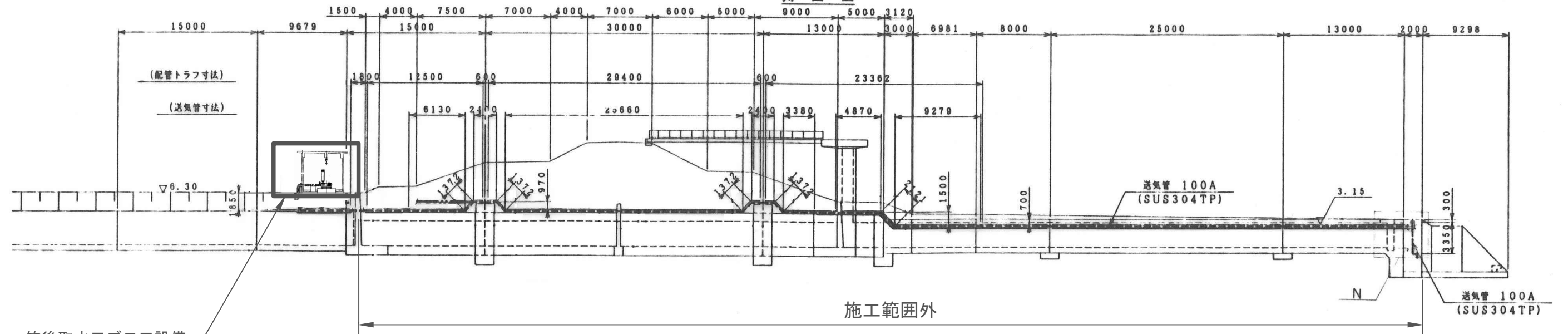




工事名 総合対策筑後取水口プロワ設備更新対策工事（仮称）	
名 称 筑後取水口プロワ設備 位置図	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所	

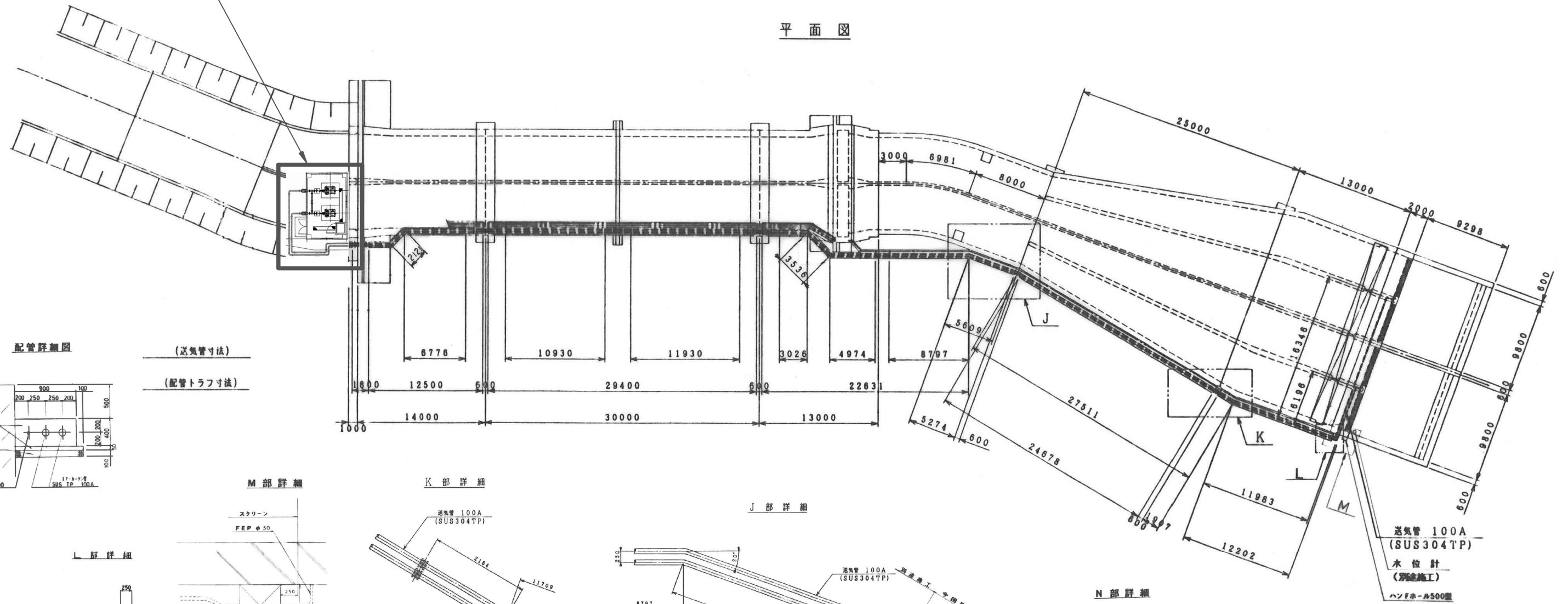


側面図

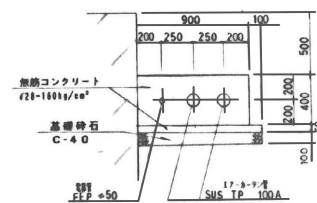


筑後取水口ブロウ設備  
(施工対象)

平面図



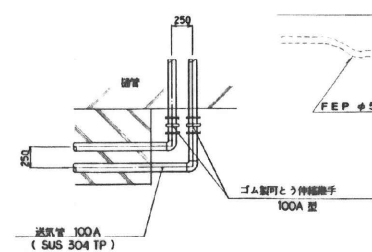
配管詳細図



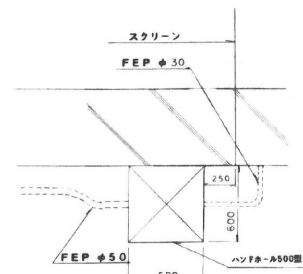
(送気管寸法)

(配管トラフ寸法)

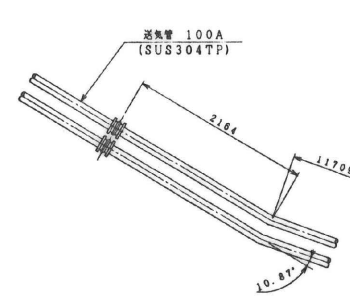
L部詳細



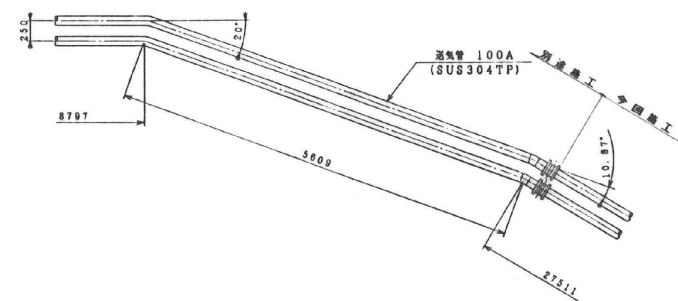
M部詳細



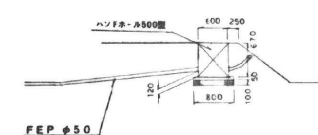
K部詳細



J部詳細



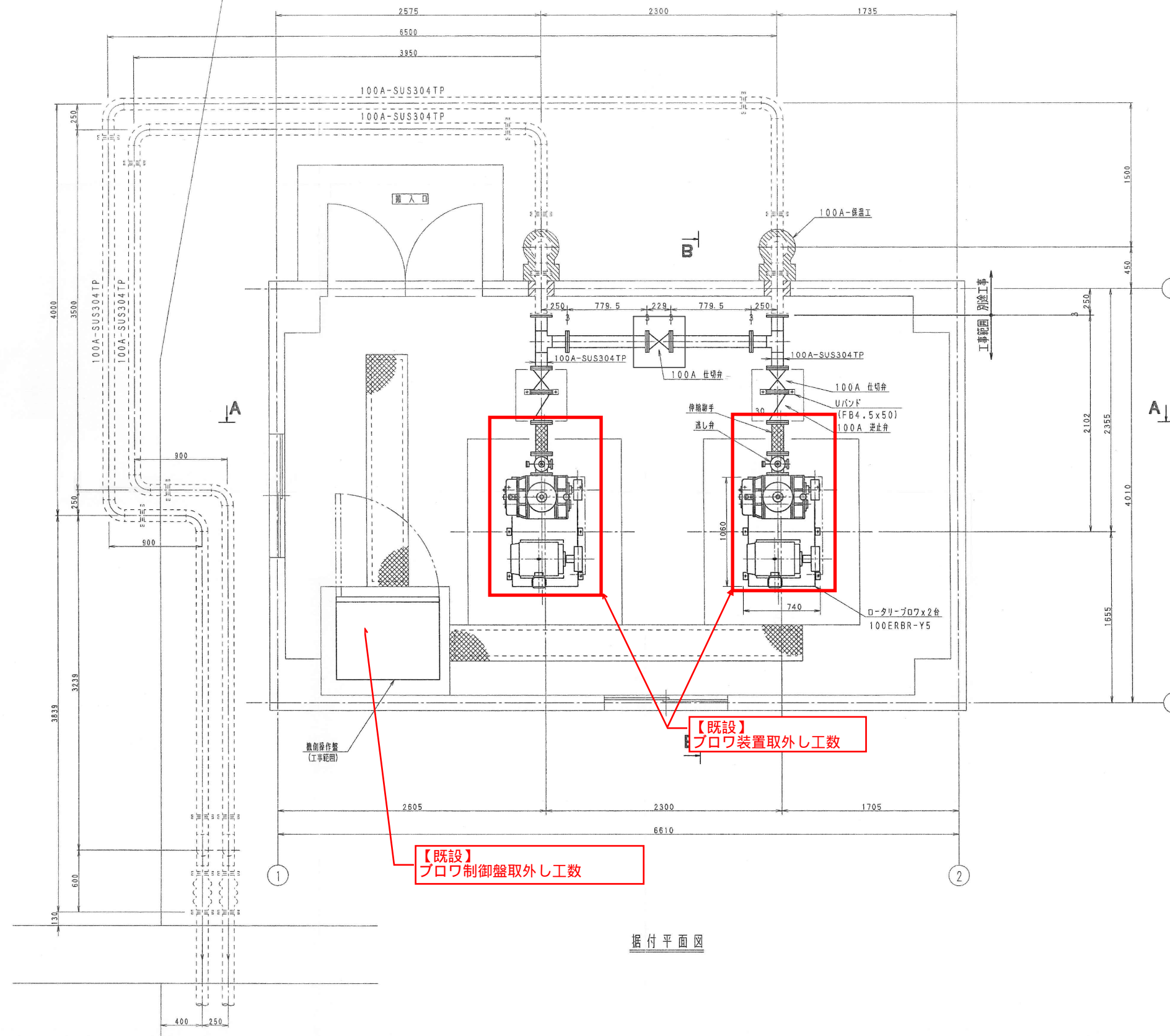
N部詳細



工事名	総合対策筑後取水口ブロウ設備更新対策工事 (仮称)		
名称	筑後取水口ブロウ設備 送気管配置図 (既設)		
登録番号		整理番号	
独立行政法人水資源機構 筑後川下流総合管理所			

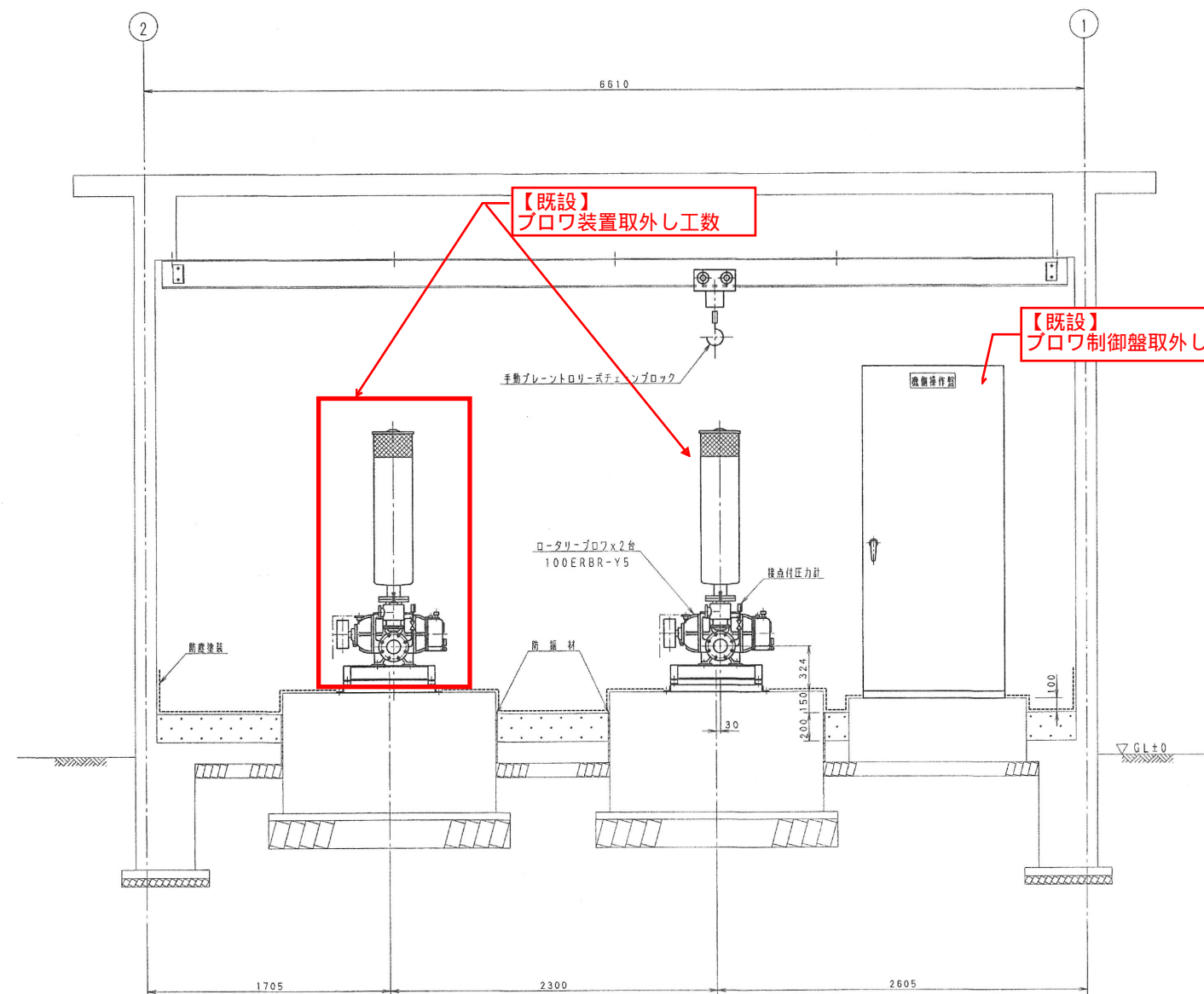
労務工数

ロータリーブロワ	
型 式	エバラERBR-5Y
台 数	2 台
口 径	100mm
吐 出 量	10m <sup>3</sup> /min
圧 力	5000mmAq
回 転 数	1700min <sup>-1</sup>
モータ型式	全閉外扇三相誘導形(兼芝)
出 力	15kw, 220V, 60Hz, 4P, B種
駆動方式	コンドルフ

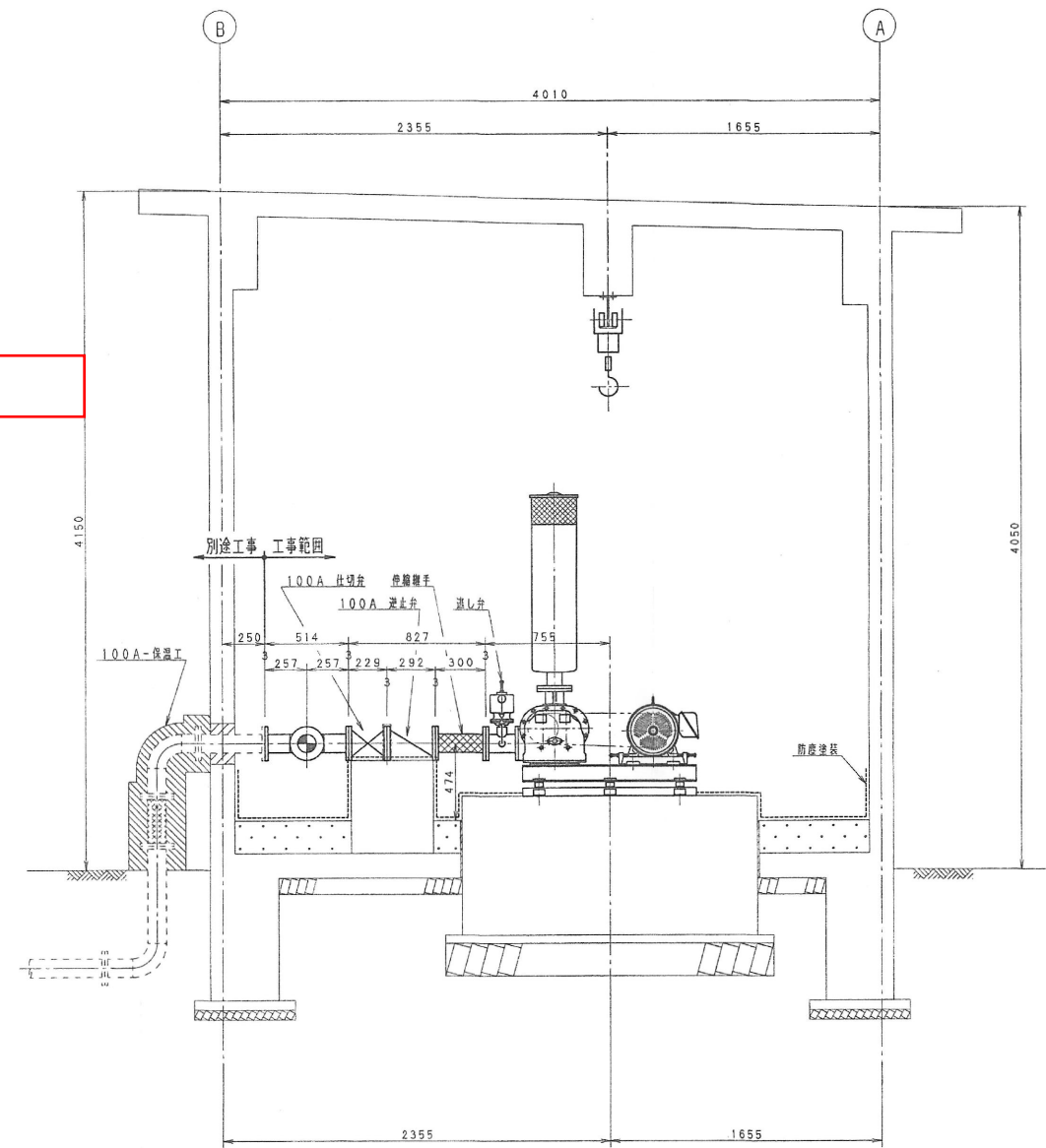


据付平面図

# 労務工数



断面 A-A

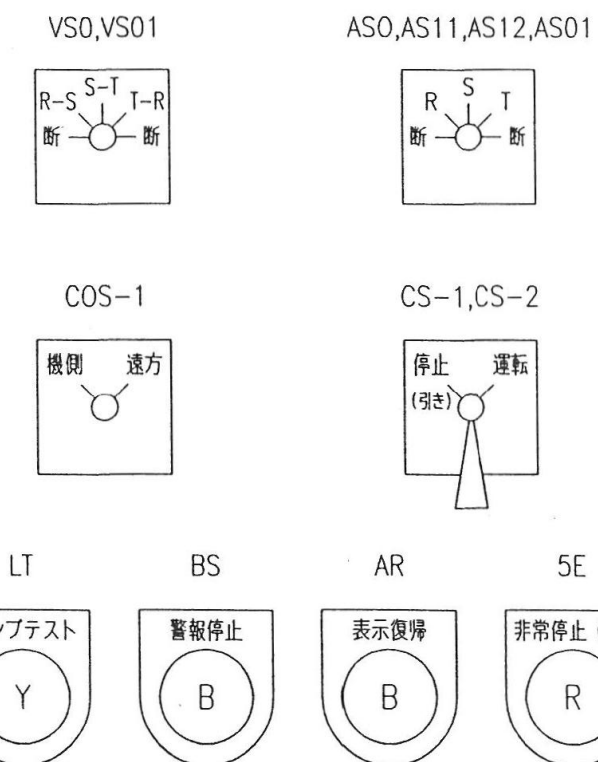
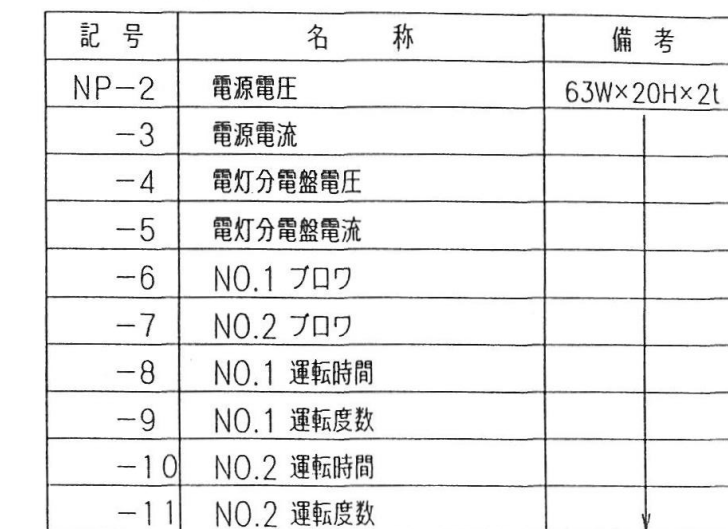
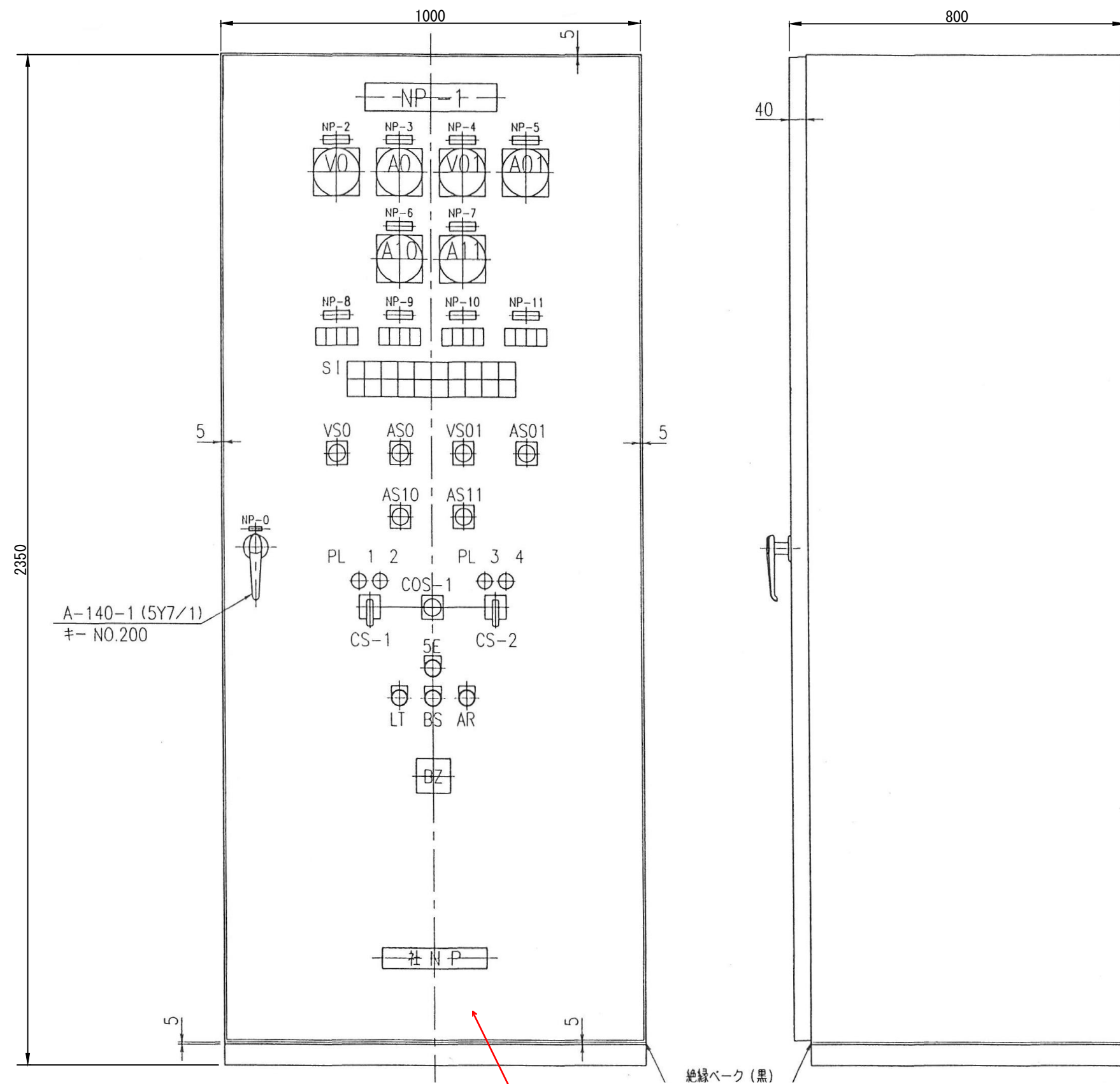


断面 B-B

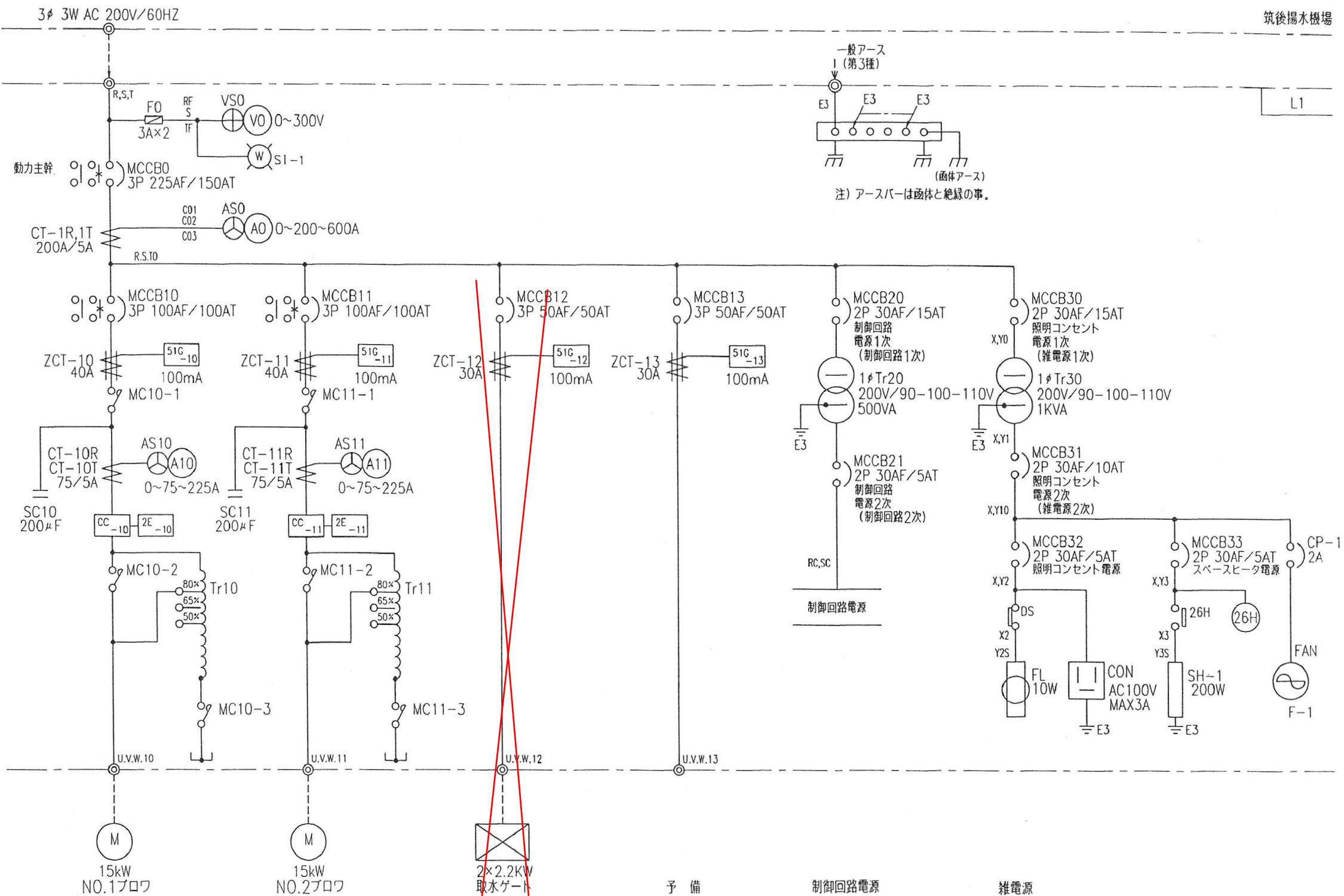
## 保溫工仕様

材料及び施工順序	規 格	備 考
ロックウール保溫帯	t=100mm	
亜鉛メッキ鉄線		
アスファルト・ルーフィング	$\delta = 22\text{kg}$	
亜鉛メッキ鉄線		
アルミガラスクロス粘着テープ	b=65mm	
ステンレス鋼板	t=0.3mm	





機器単体費  
(プロワ機側操作盤)



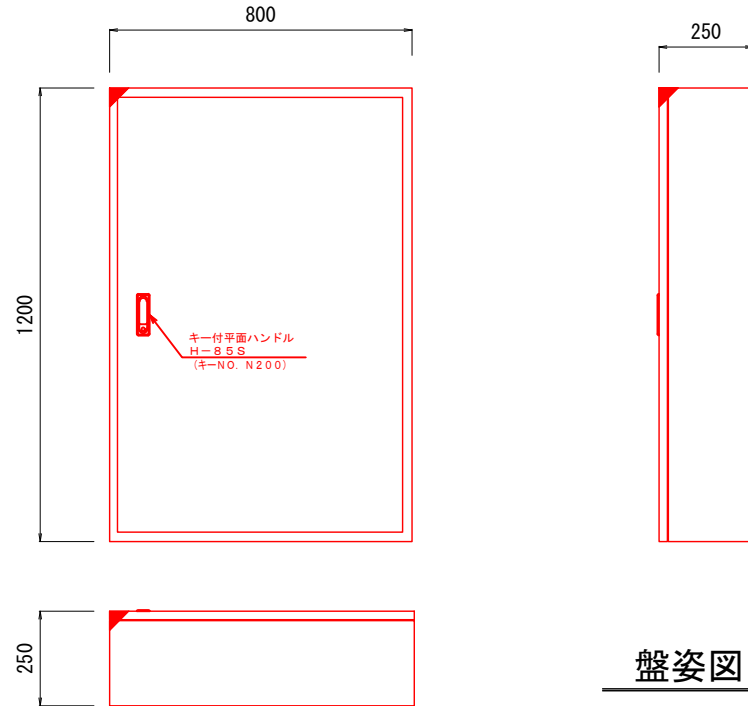
【新設 - 機側操作盤】  
既設プロワ制御盤単線結  
線図から取水ゲートに係  
る回路を除いたものとし  
る。

## 機器単体費 (電源分岐盤)

## 単線結線図及び盤姿図

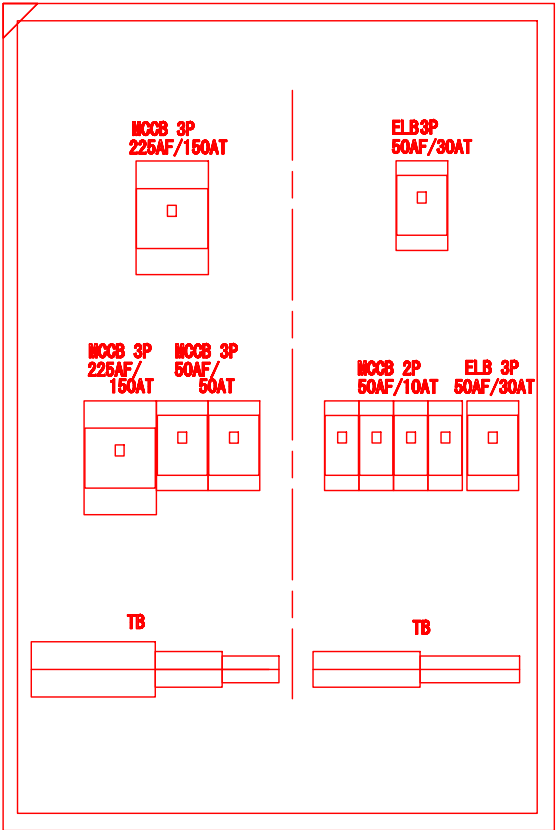
電源分岐盤（ブロワ室）

電源分岐盤



キ ャ ビ ネ ッ ト 仕 様		
形 式	屋内用	
ボデー	鋼板	t1.6
ドア	鋼板	t1.6
基 板	木板 t15	
塗装色	ライトベージュ (5Y7/1)	
I P	保護等級	IP2XD
質 量	製品質量	50 kg

盤姿図

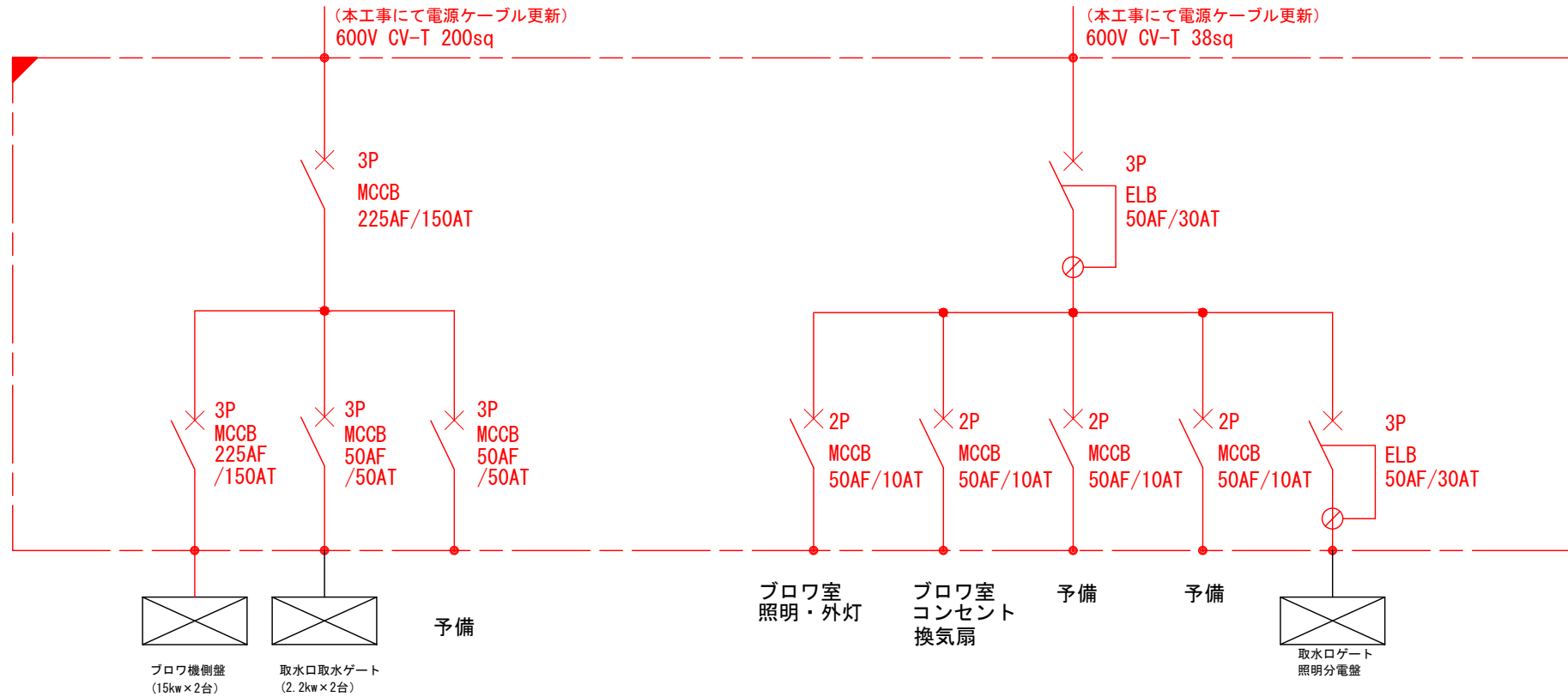


筑後揚水機場 電気室B  
低圧分岐盤 LC-AB2  
3φ3W 210V

(本工事にて電源ケーブル更新)  
600V CV-T 200sq

筑後揚水機場 電気室B  
照明分電盤 LB-B4  
1φ3W 210/105V

(本工事にて電源ケーブル更新)  
600V CV-T 38sq



## 凡 例

：新設

(本工事にて電源ケーブル更新)

工 事 名	
名 称	
登録番号	整理番号
独立行政法人水資源機構	筑後川下流総合管理所



(1) 参考見積記入様式

(件名) 総合対策筑後取水口ブロワ設備更新対策工事 (仮称)

【労務工数】

工 種	単 位	員 数	歩掛 (人)			備 考
			機械設備据付工	普 通 作 業 員	電 工	
ブロワ装置取外し	台	1				1台当りの工数
ブロワ装置据付	台	1				1台当りの工数
ブロワ制御盤取外し	面	1				
機側操作盤据付	面	1				

注1) 人数 (工数) は、小数点第1位止めで記載下さい。

注2) 工種に該当のない職種については、斜線を入れて下さい。

注3) ブロワ装置は2台ありますが、上表では1台当たりの工数を記載して下さい。

【機器単価】

名 称	単 位	員 数	単 価 (円：税別)	金 額 (円：税別)	参考重量 (kg)	製作期間 (カ月)	備 考
ブロワ装置	台	2					
機側操作盤	面	1					
電源分岐盤	面	1					
銘版	枚	1					

注1) 単価は、消費税抜きで記載ください。

注2) 参考重量、製作期間も記載ください。